

2019

6

vol.543



<https://www.yuai.jp/>

昭和63年1月18日第三種郵便物認可
6月号/令和元年6月1日発行

あなたがいて、わたし、がある。

ゆうあい

特集

「新任職員紹介」



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp

運営委員に聞く!!



中野 伊知郎 (星が丘寮)
Nakano Ichiro

利用者の重度化・高齢化への 対応について



運営委員 施設長会の中から選ばれた運営会議のメンバー

はじめに

近年、我が国の高齢化に伴い、高齢知的障がい者も増加しており、地域生活においても、家族介護者の介護による負担の増大、高齢化に対応した設備不足、経済的負担の増大、介護保険と障害福祉サービスの質の違いによる移行のしにくさなど、多くの課題が指摘されています。

全国の入所施設では、高齢化・老化に苦慮している施設は8割を超え、「日常生活における援助・介助」「保健・医療の対応」「建物設備」が主な課題となつています。また、入所施設における重度化・高齢化の支援のあり方については、「障害特性や個々の状態、ニーズに応じた包括的な支援の提供や、より専門性を必要とする障害者への対応」の必要性が提言されています。

ゆうあいでは、2019年からスタートする第4期5か年計画の重点課題の一つとして、「利用者の重度化・高齢化への対応」について様々な検討を行っていきながら、具体的な方策を講じていきます。

高齢化の現状

2006年に施行された障害者自立支援法で障害者福祉計画が策定され、国の基本方針では、入所施設利用者の10%以上を地域生活に移行させ、入所施設の定員を7%削減する方針が示されました。「施設から地域へ」という流れは、現在の第5期障害福祉計画でも継続され、入所施設の定員を2020年度末までに2%削減することが示されています。それに伴い、この10年の間に入所施設から地域生活への移行が進み、比較的障がいが軽度の方々、年齢の若い方々を中心に施設を退所してグループホームなど、地域生活に暮らしの場を移す方が増えまし

た。その結果、入所施設に残って暮らしている方々は、障がいが重い人たち、高齢で機能低下が進んでいる人たちの割合が高くなっています。

ゆうあいの入所施設を利用する方々も例外ではなく、平均年齢は年々上昇しています。現在、入所施設の平均年齢は50歳を超えている施設が半数にのぼっています。また、各事業所の65歳以上の割合は、明生園、侑愛荘、青年寮が14%以上で高齢段階となつています。特に、侑愛荘は21%を超え、超高齢段階にあります。さらに、知的障がい者の早期老化を考慮して、55歳以上の割合を見ると星が丘寮とねお・はろう以外の全ての入所施設が高齢段階にあります。

グループホームの高齢化も進んでおり、55歳以上が39%となっています。高齢になつても地域で暮らしたいというニーズに応えていくための早急な対応が求められています。また、在宅の方々にとつての最大の関心ごととは、昔も今も「親亡き後」であるのだと思います。在宅者の40歳以上の割合は、43%になっており、「親亡き後」の暮らしの場所を「親ある今」から共に考え、実行していくことが必要になっています。

通所施設においても、グループホームにおける高齢化に伴い、55歳以上の割合が24%となっており、高齢段階になっています。特に、おしま屋の55歳以上の割合は60%を超えており、早急な対応が必要な時期になっています。

重度化の現状

「障がいが重い」「重い障がいがある」といった点については、明確な定義を示すことが難しく、関わる人の印象によって判断されることが多いのだと思います。「一方で、障害支援区分の状況を見ると支援度が高いとされる区分5、6の割合は、入所

施設95%、通所施設45%、グループホーム25%、在宅72%となっています。また、各事業所においても支援に苦慮していることが報告される現状を考えると、近年の重度化は確実に進んでいることが考えられます。

高齢化・重度化に対する今後の方策

高齢化に対応するために必要なことは、第一に「法人の高齢期支援システムの構築」、第二に「高齢化対応のための環境整備」、第三に「老化に伴う機能低下に応じた居住場所、日中活動」、第四に「高齢期支援を担う人材育成」が挙げられます。特に医療との連携については、今まで以上に密接に関わっていくことの出来る体制づくりのための検討を行なっていくことです。

重度化に対応するために必要なことは、第一に「重度障がい者の実態把握」、第二に「重度障がい者に応じた居住場所、日中活動」、第三に「在宅支援の強化」、第四に「重度障がい者を担う人材育成」が挙げられます。特に、強度行動障害のように特別な配慮が必要な方々への支援については、関わる人が正しい理解に基づいて適切な支援が行われていく必要があります、その専門性を育てていくことが必要だと思います。

今回の法人第4期5か年計画では、いくつかの重点課題が示されており、その中でも利用者の高齢化・重度化については早急な対応が求められているのだと思います。利用者、家族、関係する方々の声を聞きながら必要なニーズに応えていける具体的な方策を考え実行することが法人の使命でもある「すべての方々が豊かに暮らしていくことを支えていくこと」なのだということを忘れずに、タイムリーな取り組みを進めていきます。



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp

入所施設の平均年齢

	新生園	まるやま荘	明生園	ねお・はろう	侑愛荘	星が丘寮	青年寮	侑ハウス
平均年齢	50.5歳	41.3歳	50.3歳	32.1歳	71.9歳	45.6歳	55.1歳	49.2歳

入所施設の高齢化率

	新生園	まるやま荘	明生園	ねお・はろう	侑愛荘	星が丘寮	青年寮	侑ハウス	全体
55歳以上率	29.3%	17.5%	36.0%	0.0%	94.7%	5.0%	55.3%	25.0%	39.8%
65歳以上率	8.5%	0.0%	16.0%	0.0%	78.9%	0.0%	23.7%	5.0%	22.5%
75歳以上率	1.2%	0.0%	4.0%	0.0%	42.1%	0.0%	2.6%	0.0%	9.4%

グループホーム・在宅の平均年齢

	カーム	かわつき	すばる	はまなす	在宅
平均年齢	42.1歳	47.3歳	48.7歳	53.9歳	38.4歳

グループホーム・在宅の高齢化率

	カーム	かわつき	すばる	はまなす	在宅	平均
55歳以上率	13.5%	33.3%	0.0%	51.3%	6.1%	21.8%
65歳以上率	0.0%	10.0%	0.0%	20.4%	1.0%	7%
75歳以上率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



ねお・はろう

古川 萌
Furukawa Moe



1 私は小学生の頃から父を尊敬していました。その父が福祉に携わる仕事をしていたため、自分も父のような責任感の強い優しい職員になり、たくさんの利用する方々と関わりたいと思ったことがキッカケです。

上戸 貴幸
Ueto Takayuki



2 仕事終わりにコンビニに寄って、お酒とお菓子和デザートを買っている時です。

山本 寛樹
Yamamoto Hiroki



2 社会人バスケの試合の前日は楽しみでウキウキします。

星が丘寮

阿部 亮介
Abe Ryosuke



2 美味しいものを目の前にした時と、映画上映5分前と野球観戦です。

林 那々子
Hayashi Nanako



1 福祉の仕事は、幅広い人々の幸せを守るためにあり、食を通して利用者の生活の質を上げられるようになりたいと考えたからです。

侑愛荘

永嶺 紗雪
Nagamine Sayuki



1 中学生の頃、高齢者施設へ行った時、そこで帰り際に涙を流している方がおり、その時に、利用者さんを支えたいと強く思い、その時から福祉の道に進みたいとずっと思っていました。

前田 笑奈
Maeda Emina



1 高校の時、部活動で福祉施設に行く機会があり、職員と利用する方々の関係性に憧れたことがキッカケです。

ワークショップはこだて

赤坂 美奈
Akasaka Mina



2 利用する方々と話している時間です。休日は、金曜の夜が一番ウキウキしています。お酒が大好きなので、音楽を聞きながらお酒を飲んでいる時間が至福です。

塚田 晴香
Tsukada Haruka



2 利用する方の立場になって気持ちを考えながら関わり、一人ひとりの性格や特性を理解していきたいと思ったのがキッカケです。

函館青年寮通所部

太田 香織
Ota Kaori



1 障がい者乗馬のボランティアをした時に、みんなの純粋で生き生きとした笑顔を見てもっと何かお手伝いできたらいいなと思いました。

ワークセンターほくと

発出 京子
Hatsude Kyoko



2 登山です。日々の葛藤を自問自答し、頂上で気持ちが軽くなります。下山で「無事、登れた事への感謝」「力を抜いて楽しく生きる事が大事」と思えて、ウキウキします。とくに冬山は虫や蛇と遭遇せず楽しいです。

サポートカーム

丸井 友和
Marui Tomokazu



1 学生時代のボランティアがキッカケで、あの時、利用する方と家族を見て「この仕事がかしたいな」と思った事を今も忘れておりません。

伊藤 実昇
Ito Minoru



1 自分の小さな力でも必要な誰かにとっては大きな支えになることを知り、少しでも他の人の力になりたいと思いました。

七重浜こども園

斉藤 綺良々
Saito Kirara



1 よく、いとこの面倒を見ていて大人になってからも子ども達のお世話をしたいたくさんの子ども達の成長を身近で見届けたいと思ったからです。

ゆうあい幼稚園

高橋 優美
Takahashi Yumi



1 幼い頃に保育園に通っていて、そのときに、お世話になった保育園の先生に憧れ、物心ついたときから保育士や幼稚園教諭になりたいと思うようになったことが福祉の仕事をしたかったキッカケです。

浜分こども園

小野 菜々花
Ono Nanaka



1 勉強や実習をしていく中で、障がいのある子と一緒に保育をしていて、これからもっと学んでいきたいと思ったからです。

見延 瞳子
Minobe Toko



1 小学生の頃に近所の子とよく遊ぶ機会があり、幼い子と関わることが好きで、中学の職業体験の際に自分も先生方のような保育士になりたいと思ったことがキッカケです。

本部事務所

寒川 由美
Samukawa Yumi



2 気の合う仲間と美味しいものを食べて、ビールを飲んでいる時間です。

吉田 晴香
Yoshida Haruka



2 休日に友人と映画を観ることや、ラーメンを食べる時が癒しの時間です。

クッキーハウス

澤越 祐太
Sawakoshi Yuta



1 自分が将来的に続けていく仕事というものを考えた時に、せっかく本気で取り組むのなら、やりがいと難しさを優先しようと思い立ち、人と人との距離が近い福祉の仕事を選びました。

室村 ゆかり
Muromura Yukari



1 前職で障がい児と関わっていた経験や、身近に障がいのある方がおり、支援により、安定した生活を送ることができるようになったことから、障がいのある方達の支援に興味をもちました。

おしま学園

小辻 可恋
Kotsuji Karen



1 元々施設で働きたいとは思っていましたが、その時点ではまだ定まっていなかった。悩んでいた時に障がいのことについて学び、福祉の仕事をしてみたいと思ったことがキッカケです。

保坂 尚志
Hosaka Naoyuki



1 学生の時に、色々な事情で学校へ行けなくなってしまった子ども達に勉強を教える機会がありました。その活動を通して、困難を抱える子ども達のために何ができるのかと考え始めたのがキッカケです。

つくしんぼ学級

小川 明日香
Ogawa Asuka



2 子どものキラキラした笑顔を見た時、何か発見した、楽しいことがあった、上手くいったなど、そんな時の子ども達の笑顔はウキウキ、私も心踊ります。

新生園

長谷川 茉奈
Hasegawa Mana



1 ボランティアに参加したときに利用する方々と職員の方が笑顔で話をしていました。それを見て、人を笑顔にする仕事って素敵だと感じたのがキッカケです。

秋山 和昭
Akiyama Kazuaki



1 私は、子どもの頃から誰かの役に立つ事や人に「ありがとう」と言われる仕事がしたいと思っていました。これからは、少しでも社会の役に立ちたいと思い福祉の仕事を選びました。

廣澤 めぐみ
Hirokawa Megumi



2 夫と子ども達との休日時々合わないので、皆が休日の時に出掛けたりする事です。

ワークショップまるやま荘

大山 亮一
Oyama Ryoichi



2 趣味である海釣りをしている時間がウキウキ、リフレッシュが出来て、自分自身を見つめ直す事が出来る時間です。

中川 絵理
Nakagawa Eri



1 大学の授業を通して、障がいを抱える人にとって何が必要なのだろうと考え、その事に携わりたかったのがキッカケです。

明生園

佐藤 彩乃
Sato Ayano



1 専門学校時代の実習がキッカケです。以前から関心はあったのですが、実際に障がいのある方とふれあい、日常生活をサポートしたいと強く思ったことがキッカケです。

瀧本 亜矢子
Takimoto Ayako



2 映画鑑賞や旅行など、好きな事を行っている時は当たり前のようにウキウキしています。仕事を終えて、疲れたな～ではなく、今日も頑張ったぞ！と色々な事をプラス思考に考え、ウキウキして幸福な時間を増やすようにしています！

竹原 菜々子
Takehara Nanako



1 学生の頃、授業の中で障がいについて少し学び、色々な個性を持つ人があるということを知り、もっと知りたいと思ったことがキッカケです。



2019

新任職員紹介



平成31年4月1日に辞令交付式が行われました。新任職員の方々にアンケートを配布し、答えていただきました。2項目のアンケートからこちらで選ばせていただいたものを掲載しています。

- 福祉の仕事をしたかったキッカケはなんですか？
- あなたのウキウキする時間は？



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp